競技スポーツ選手育成強化事業補助金

スポーツ健康教育課

【予算額】H24当初　84,522千円　→　H25年当初　84,942千円

目　的

国民体育大会をはじめとする全国大会等において本県選手が活躍することは、県民のスポーツに対する意識を高め、スポーツの普及・振興を推進するとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与するものである。

こうしたことから、スポーツで県民に明るい話題を提供し、夢や感動、希望を与えることができるよう、各競技団体をはじめとする関係機関と連携を図り、国民体育大会や各種全国大会において優秀な成績を収めるため、強化事業を推進する。

現状と課題

- ◆ 国体の男女総合成績が下位低迷（H24：岐阜国体47位）
- ◆ 国体四国ブロック大会突破率の低迷
- ◆ お家芸競技（ソフトボール、卓球、相撲）の得点が減少傾向
- ◆ 県内に企業スポーツや選手の受け皿等が少ないことによる、トップ選手、ジュニア選手の県外流出
- ◆ 県内で切磋琢磨できる相手が少ない
- ◆ 指導者不足
- ◆ スポーツ医科学、スポーツ栄養面等において、関係機関との連携が少ない
- ◆ 競技人口が減少傾向
- ◆ 国際大会や全国大会において、優秀な成績を収める選手やチームが育ってきている

取組の方向性

- ◆ **お家芸競技**（ソフトボール、卓球、相撲）の得点力の向上及びそれに続く競技（飛込、弓道、水球など）の育成強化
- ◆ ジュニア期から系統だった選手の強化
- ◆ 競技団体と学校体育団体との連携（有望選手の県外流出防止）
- ◆ 県内で切磋琢磨できる環境づくり
- ◆ 指導者の養成・指導力向上
- ◆ スポーツ医科学、スポーツ栄養等について、関係機関と連携
- ◆ 競技人口の確保・拡充

平成25年度の取組

■**お家芸競技復活プロジェクト**及びそれに続く競技の強化　新規

・お家芸競技（ソフトボール、卓球、相撲）、それに続く活躍の著しい競技・種別（飛込、弓道、水球など）において、県内外合宿や遠征の回数を増やし、今まで以上に経験を積ませることにより、接戦に強い選手を育成する

■強化指定選手強化　拡充

国体での得点源となる強化競技・有望種別を指定し、強化費を重点配分、また競技団体とのヒアリングをもとに、競技力を分析し、期待配分を行う

■高校生対策　拡充

・県内で切磋琢磨できる環境をつくるため、招聘チームを高校生から大学生まで拡充し、試合形式の競技会を実施することにより、県内の競技レベルを上げる

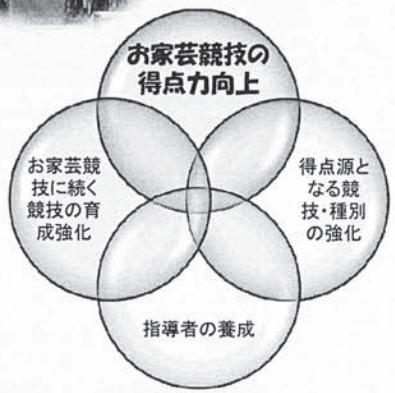
■ジュニア（小学生対策）　見直し　**育成→強化**

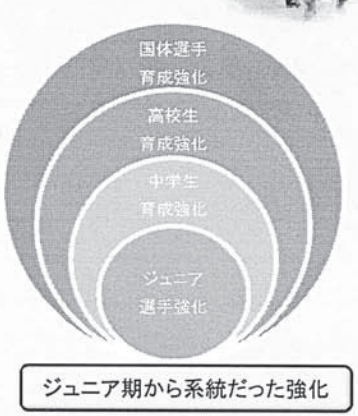
・クラブチームや定期的に強化練習会を実施している団体に的を絞り、ジュニア期からの系統だった選手の強化を図る

■指導者研修会　新規

・指導者の指導力向上のため、メンタル面の指導法、スポーツ医科学・栄養、指導者の在り方、トレーニング法、指導者資格取得研修等を実施（年2回）

国体での得点向上！全国レベルの大会での活躍！





ジュニア期から系統だった強化